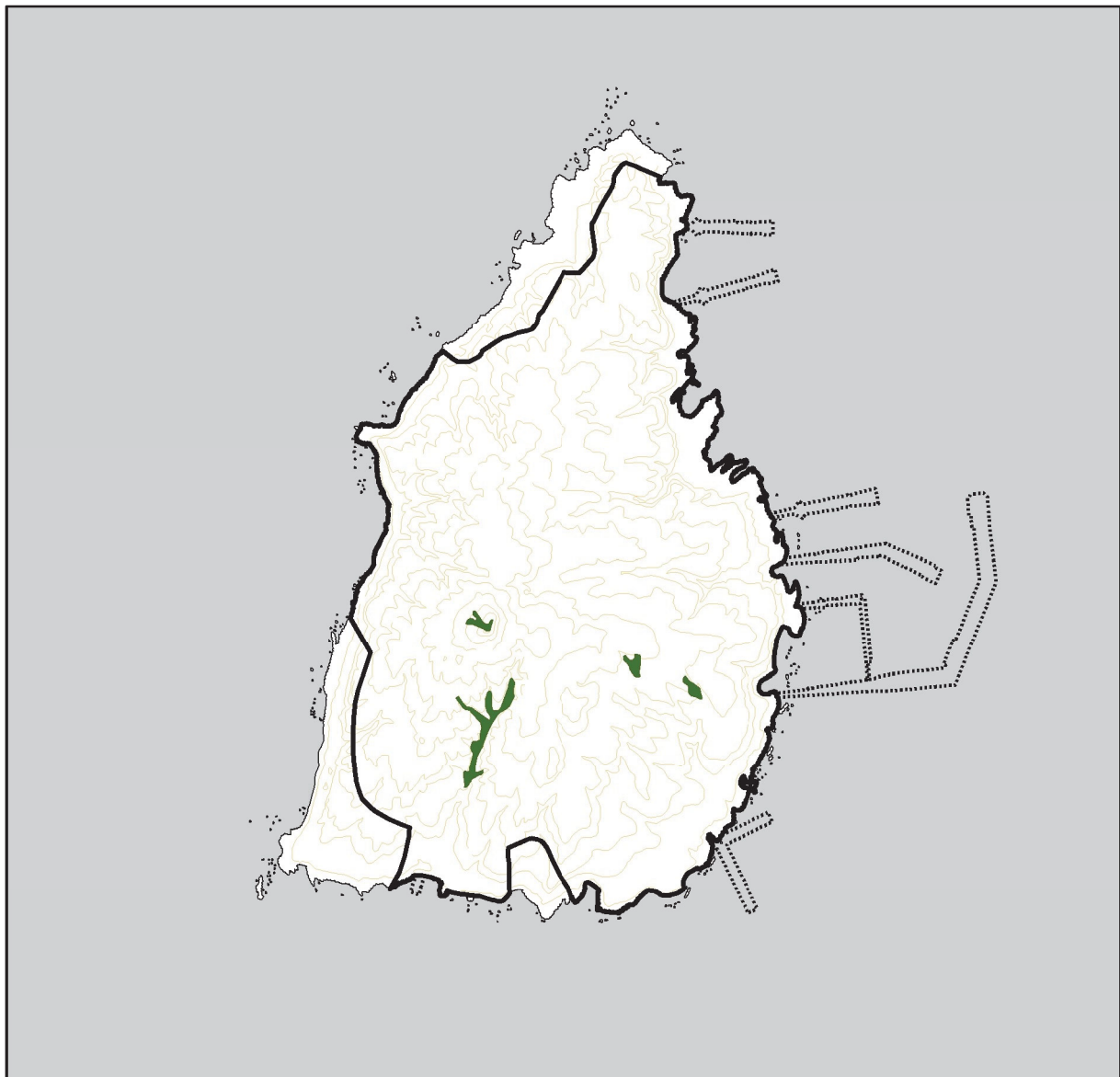


図-3.1.23(2) 特定植物群落、巨樹・巨木林



凡例

- 対象事業実施区域
- 対象事業実施区域(港湾施設)
- 9, タブノキ群落

0 0.5 1 2 km

1:40,000



出典：環境省自然環境保全基礎調査植生調査情報提供サイト「1/2.5万植生図」
 (<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-023.html>)
 「1/2.5万植生図を基にした植生自然度について」
 (環境省自然環境局生物多様性センター、
 環生多発第1603312号、平成28年3月31日)をもとに作成

図-3.1.24(1) 自然植生

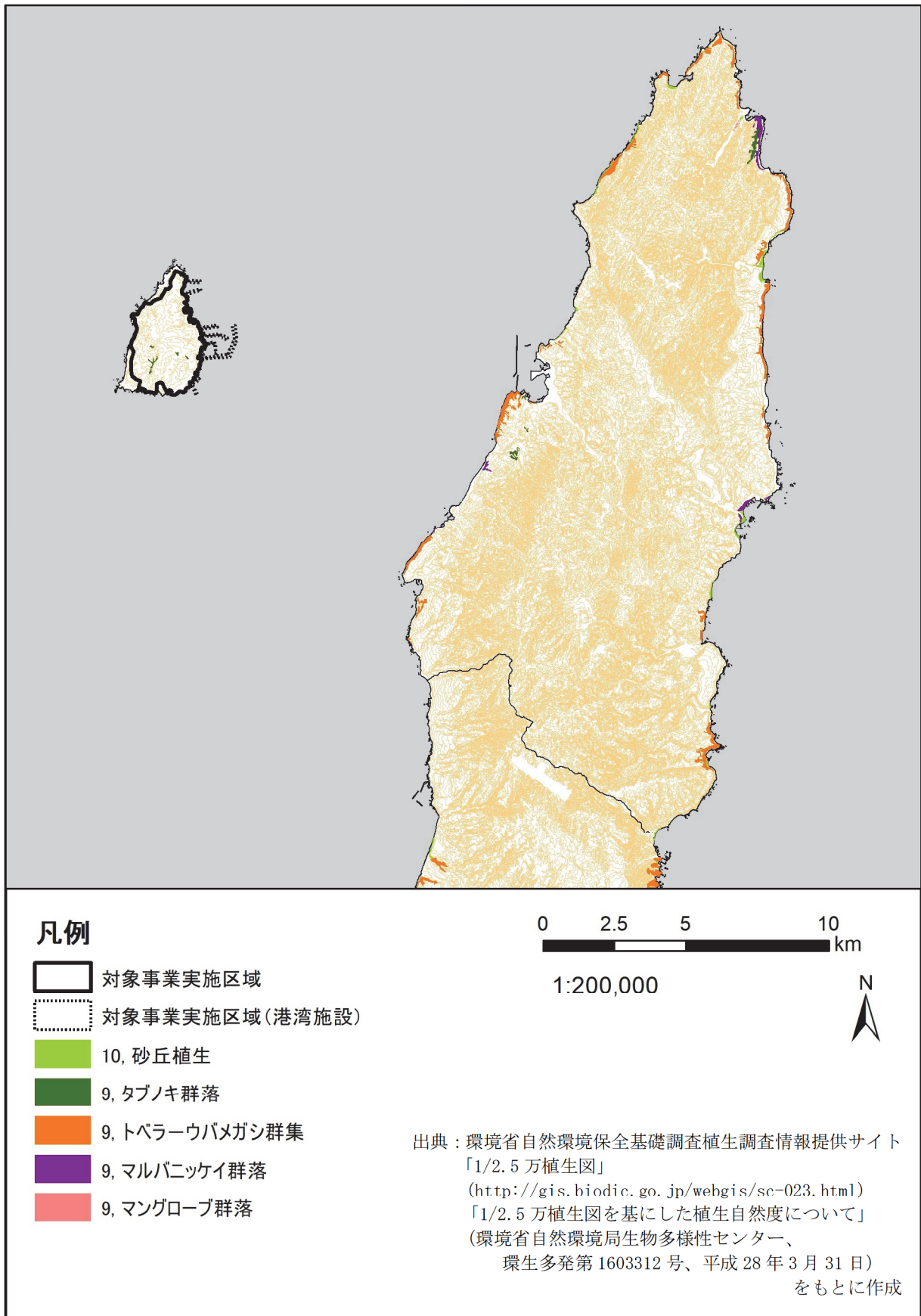


図-3.1.24(2) 自然植生

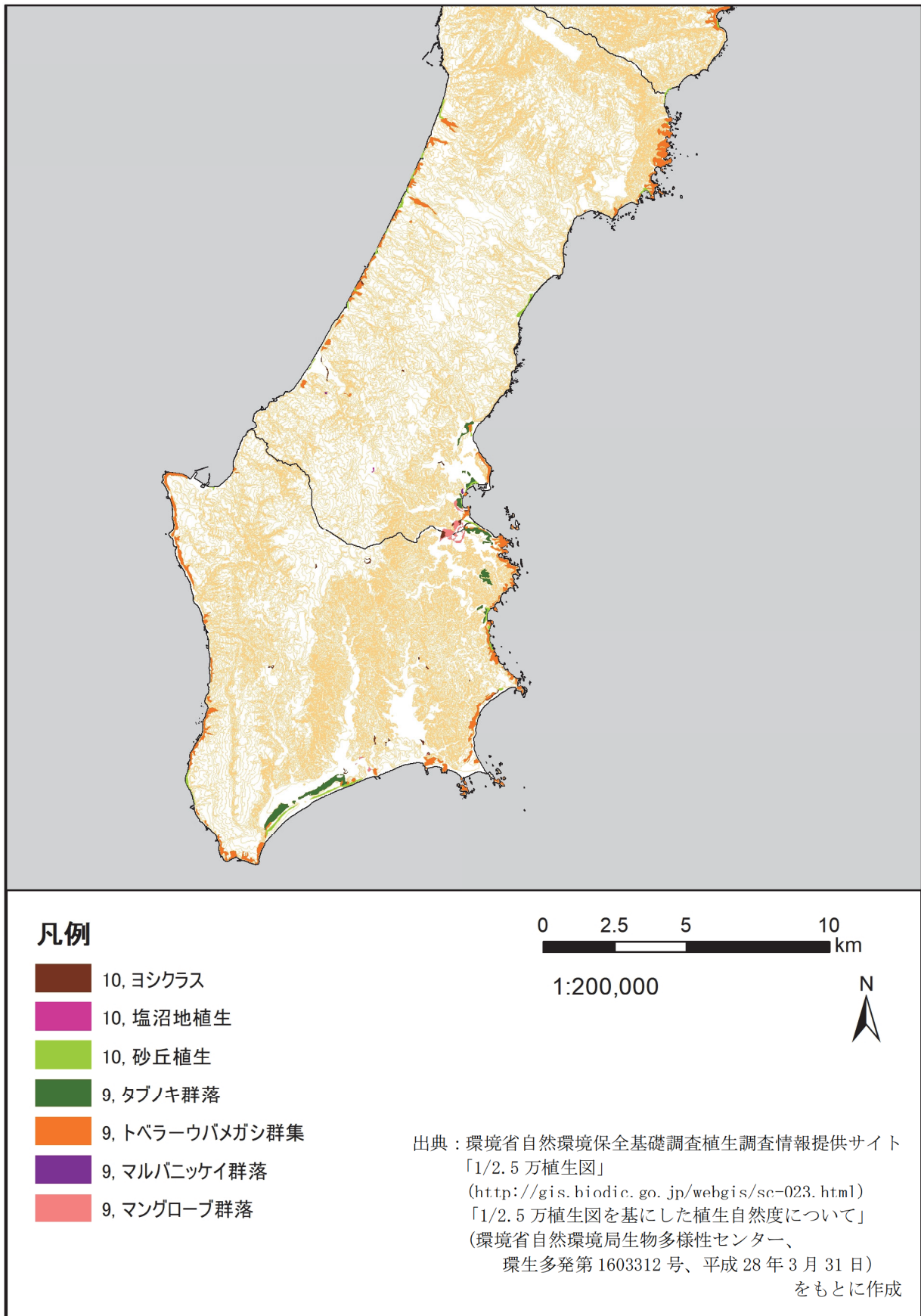


図-3. 1. 24(3) 自然植生

2) 概況調査

対象事業実施区域がある馬毛島における動植物の生態情報に係る既往知見が少ないことから、既往知見から注目される種を対象に、馬毛島の陸域及び周辺海域において概況調査を実施しました。

調査の実施内容は、表-3. 1. 69 のとおりであり、陸域では哺乳類のうち「馬毛島のニホンジカ」（以下、「シカ」）、哺乳類（シカ以外）の重要な種、鳥類の重要な種、爬虫類の重要な種、両生類の重要な種、魚類の重要な種、昆虫類・クモ類の重要な種、陸産貝類の重要な種、淡水・汽水産貝類等の重要な種、オカヤドカリ類、植物の重要な種、ウミガメ類、海域ではサンゴ類・藻場の分布状況及び構成種について調査しました。

概況調査の期間は表-3. 1. 70 に、調査結果は以降に示すとおりです。

表-3. 1. 69 概況調査実施内容

調査項目	調査方法	調査地域
哺乳類（シカ）	定点観察・踏査等	馬毛島全域（陸域）
哺乳類（シカ以外）の重要な種	目視観察、バットディテクター（コウモリ類）	馬毛島全域（陸域）
鳥類の重要な種	任意観察	馬毛島全域（陸域）
爬虫類の重要な種	目視観察	馬毛島全域（陸域）
両生類の重要な種	目視観察	馬毛島全域（陸域）
魚類の重要な種	目視観察、採集	馬毛島島内の主要な河川・池
昆虫類・クモ類の重要な種	目視観察、スウィーピング等	馬毛島全域（陸域）
陸産貝類の重要な種	ハンドソーティング等	馬毛島全域（陸域）
淡水・汽水産貝類及びその他水生生物の重要な種	網及びハンドソーティング	馬毛島全域（陸域）
オカヤドカリ類	目視観察	馬毛島全域（陸域）
植物の重要な種	現地踏査	馬毛島全域（陸域）
ウミガメ類	現地踏査（産卵適地及び上陸足跡）	馬毛島の海浜部（岩礁除く）
サンゴ類・藻場	潜水目視観察	馬毛島の海岸線から 200～600m 程度の範囲（海域）

表-3. 1. 70 概況調査期間

調査項目	調査期間
哺乳類（シカ）	平成31年2月5日～8日、3月27日～30日、令和2年1月29日、31日、2月1日～2日、6月13日～15日
哺乳類（シカ以外）の重要な種	令和2年6月10日～12日
鳥類の重要な種	平成31年2月5日～7日、令和2年6月10日～13日
爬虫類の重要な種	令和2年6月10日～12日
両生類の重要な種	令和2年6月10日～12日
魚類の重要な種	平成31年2月5日～7日、3月29日～30日、令和2年6月8日、10～12日
昆虫類・クモ類の重要な種	令和2年6月10日～12日
陸産貝類の重要な種	平成31年2月5日～8日、3月26日～29日、令和2年6月17日～18日
淡水・汽水産貝類及びその他水生生物の重要な種	平成31年2月5日～7日、3月29日～30日、令和2年6月8日、10～12日
オカヤドカリ類	平成31年2月5日～8日、3月27日～30日、令和2年6月2～5日、7日
植物の重要な種	平成31年2月5日～8日、3月26日～28日、令和2年6月8日、10～14日
ウミガメ類	平成31年2月5日～8日、令和2年6月2～5日、7日、12日
サンゴ類・藻場	平成31年2月5日～8日、10日、12～24日、3月20日、24～25日、令和2年7月28日～8月5日

(a) 哺乳類（シカ）

馬毛島に生息するシカを対象に調査を行いました。

調査の結果、数百頭程度のシカが生息していることが推定されました。

シカは、主に島内南部に生息し、シバ群落等の二次草原、クロマツ植林等の植林地等、多様な環境を利用していることが確認できました（写真-3.1.1）。



写真-3.1.1 シカの確認状況

(b) 哺乳類（シカ以外）の重要な種

シカ以外の哺乳類は確認されませんでした。